

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
440013	X-13-B-2-440013	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×
生産管理	佐々木 桐子			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	2年
		【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	2年		

授業目的

情報文化学部のディプロマポリシーの「仕事の仕組みをシステムの考え、データを重視した論理的な判断ができる」ようになるために、経営学や経営工学の領域において展開されている「生産管理」を扱う。特に、生産の概念、歴史、さらに生産企画（計画）や生産管理の諸手法を学習する。具体的には、生産管理の史的考察をおこない、経営資源（人、もの、お金、情報）の流れを理解し、科学的なアプローチとして意思決定の諸手法を習得し、さらに生産における諸問題の解決策を提案する。

各回毎の授業内容

<p>第1回 【授】1. 生産の概念 生産、生産要素、生産工程、生産財、生産性 【前・後】【必要な時間：3時間】 講義ノート、チェックノートを活用しながら、主に重要語句の確認をおこなう。</p> <p>第2回 【授】2. 生産管理の史的考察① 社会の変遷、成行管理、課業管理（小テスト①） 【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「自動化」と「自働化」の違いについて説明できるようにすること。</p> <p>第3回 【授】3. 生産管理の史的考察② 同時管理、自己制御管理、システム管理（小テスト②） 【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「稼働率」と「可動率」の違いについて説明できるようにすること。</p> <p>第4回 【授】4. 大量生産方式の起源と発展① 初期のアメリカ自動車産業（小テスト③） 【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「省力化」、「省人化」、「少人化」の違いについて説明できるようにすること。</p> <p>第5回 【授】5. 大量生産方式の起源と発展② 初期の日本自動車産業、トヨタ生産方式（小テスト④） 【前・後】【必要な時間：3時間】 指定された新聞記事を読み、「自動化」に関する部分を抜き出すこと。</p> <p>第6回 【授】6. 生産の形態、需要予測 分類、見込生産と受注生産、需要予測のモデル（小テスト⑤） 【前・後】【必要な時間：3時間】 1週間の米ドルの推移から、指定された日の終値を予測すること。</p> <p>第7回 【授】7. 生産計画① 種類、戦略（小テスト⑥） 【前・後】【必要な時間：3時間】 1週間の豪ドルの推移から、指定された日の終値を予測すること。</p> <p>第8回 【授】8. 生産計画② 長期生産計画（小テスト⑦）、授業内レポート課題） 【前・後】【必要な時間：5時間】 長期生産計画（在庫保管費2円の場合と10円の場合）を策定すること。</p>	<p>第9回 【授】9. 生産スケジューリング① 2工程フローショップスケジューリング（小テスト⑧） 【前・後】【必要な時間：3時間】 多工程フローショップスケジューリングを策定すること。</p> <p>第10回 【授】10. 生産スケジューリング② 多工程フローショップスケジューリング（小テスト⑨） 【前・後】【必要な時間：3時間】 カレーライスパーティー問題を解くこと。</p> <p>第11回 【授】11. 工程計画 評価基準、最適工程計画、フォワード方式、バックワード方式（小テスト⑩） 【前・後】【必要な時間：3時間】 ABC在庫管理の問題を解くこと。</p> <p>第12回 【授】12. ABC在庫管理 ABC分析、ローレンツ曲線、パレートの法則（小テスト⑪） 【前・後】【必要な時間：3時間】 パレート図を作図すること。</p> <p>第13回 【授】13. ロジスティクス 概念（物流とロジスティクス）、変遷（小テスト⑫） 【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「物流」と「ロジスティクス」の違いについて説明できるようにすること。</p> <p>第14回 【授】14. 統括・ふりかえり 【前・後】【必要な時間：3時間】 講義ノート、チェックノートを活用しながら、授業全体の流れを理解すること。</p> <p>第15回 【授】15. 質問とその回答 【前・後】【必要な時間：16時間】 定期試験対策</p> <p>第16回 【授】16. 定期試験 【前・後】定期試験対策</p>
---	---

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

<小テストのフィードバックについて>

毎回の小テストは、学生ごとに「チェックシート」という小冊子にまとめられ、毎回の授業後に回答を確認をし、次の授業にて返却・解説を行う。全体的な傾向や優秀な回答の紹介をおこなう。

教科書参考書

教科書：「生産管理 講義ノート」（初回の授業で配付）を使用する。

参考文献：人見勝人著 『新・生産管理工学』 コロナ社、1997.

受講に当たっての留意事項

電卓を持参すること。

学習到達目標

・企業における生産の管理全般を理解し、現実の問題へと応用することができる。
（小テスト：20%、定期試験：30%）

・管理に関わる諸問題を発見し、解決する能力を身につけることができる。
（小テスト：20%、定期試験：30%）

JABEE

(2017年度生以前)関連する学習・教育到達目標：E、I

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習